

平成 26 年、8 月初旬、今回私が参加することになった班は、医師 1 名、看護師 2 名、医学生 2 名から構成される班でした。

初日は、早朝に大学へ集合し、一週間分の荷物をパッキングし、上高地へ向かいます。

お昼前に上高地に到着。昼食を終えてから、いよいよ上高地を出発します。

1 日目の登山行程は上高地から横尾山荘まで。比較的平坦な登山道をゆっくりと歩き、夕方頃には横尾山荘に到着。翌日に備え、食事と入浴を済ませたあとは速やかに就寝しました。

2 日目早朝に横尾山荘を出発、前日と比べると傾斜のきつい山道が続きます。涸沢を經由し、険しい山道であるザイテングラードを越え、奥穂高山荘および岐阜大学夏山診療所に到着。前班より引き継ぎを受け、翌日より診療活動が開始されます。

診療所では登山客に起こったトラブルに対して、限られた医療資源の中、必要とされる応急処置を行います。

我々の班の滞在中は、軽度の外傷患者や高山病症状のある方の他、虫刺されや頭痛、感冒症状を訴える方などが診療所を訪れました。

また、私が診療所に滞在している間には、私と同様に診療活動を行ったことのある医局の先輩医師が訪れることもあり、この活動の歴史を改めて感じました。

4 日間の診療活動を終えた後には、次の班が到着し、活動の引継ぎを行い、翌日に下山します。早朝に出発し、昼過ぎには上高地へ到着。活動中に大きな事故もなく、翌日には激しい筋肉痛を残す程度で日常業務に戻ることができました。



普段の診療とは全く異なる業務ですが、医師としてこのような活動に参加できることは非常に有意義なことでした。

今後も機会があれば活動協力を行っていただければと思っています。

